

令和4・5年度 ふじざくら支援学校 校内研究について

1 研究主題

「社会の中で自分らしく豊かに生きていく力を育てる授業実践～指導と評価の一体化及び授業の充実を図る～」

2 設定の理由

令和2・3年度の校内研究では、研究主題を「児童生徒一人一人に即した授業実践を目指して」とし、各教科や自立活動の授業実践を通して研究を行った。児童生徒の実態を把握し、個々に応じた目標や指導内容を設定することで成果があった。今後の課題としては次の点が挙げられた。

- ① 自立活動で学んだことを各教科の目標達成にどのようにつなげていくか。
- ② 評価規準や評価方法を明確にすること。
- ③ 必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にすること。

そこで、令和4・5年度の校内研究では、昨年度、課題として挙げられた点と本校のグランドデザイン2022及び学校経営方針を踏まえつつ、児童生徒が「自立をめざし、社会の中で豊かにたくましく生きていくための力を育てる」という学校教育目標の実現に向けた授業実践を目指していきたいと考える。本校では、自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する視点に立ち、「生きる力」を育む教育を大切にきてきており、児童生徒一人一人の「生きる力」がどれだけ育ってきているかを丁寧に見取りながら授業改善や指導の改善を実施してきたところである。また、新学習指導要領の全面実施に伴い、改訂の要点である「子供たちの学びの連続性の確保」「一人一人の障害の状態等に応じた指導の充実」「自立と社会参加に向けた教育の充実」をしっかりと認識し、教育実践に生かしていくことも求められる。

学習指導要領を確実に実施し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践を行うと共に、児童生徒が「何ができるようになるかー育成を目指す資質・能力ー」「何を学ぶかー具体的な教育内容の改善・充実ー」「どのように学ぶかー主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ー」という視点を持ち、児童生徒一人一人の「学び」に注目し、前の学びからどのように成長しているか、より深い学びに向かっているかどうかを捉えていく。

今年度は、まず、基礎研究を通して「学習評価のあり方」「目標及び内容、評価規準の設定」等に関する教師間の共通理解を図る。次に、PDCAサイクルに基づく国語、算数・数学、ことばかずの授業づくりに関する研究を通して、指導内容や方法、適切な評価のあり方について検討する。授業実践において、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」につなげるための指導方法の1つとしてICTの活用が挙げられ、授業実践を通して効果的な活用方法について検討していくことも重要である。結びに、研究成果についても学校全体で共通理解を図り、授業や教育課程の改善につなげていく。

3 研究期間：2年間（令和4・5年度）

4 研究内容・方法

日々の授業実践において「主体的・対話的で深い学び」について考え、その実現に向けた授業改善に取り組む。

【令和4年度】「国語、算数、数学、ことばかず」の授業を中心に

- ① 「何ができるようになるかー育成を目指す資質・能力ー」を明確にした上で、そのために各教科等で「何を学ぶかー具体的な教育内容の改善・充実ー」、それらを「どのように学ぶかー主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ー」等の視点で検討
- ② 適切な評価のあり方について検討
 - ・学習指導の目標に照らして、一人一人の進歩の状況や教科等の目標の実現状況を評価する。
- ③ 授業実践
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した効果的な授業実践（ICTの活用等）
- ④ 文献研究、研修会
 - ・「学習指導要領」「主体的・対話的で深い学び」「学習評価のあり方」「目標及び内容、評価規準の設定」「ICT活用」等

*研究方法（事例研等）やグループ編成は各学部で検討とするが、5 研究組織を基本に研究を進めていく。

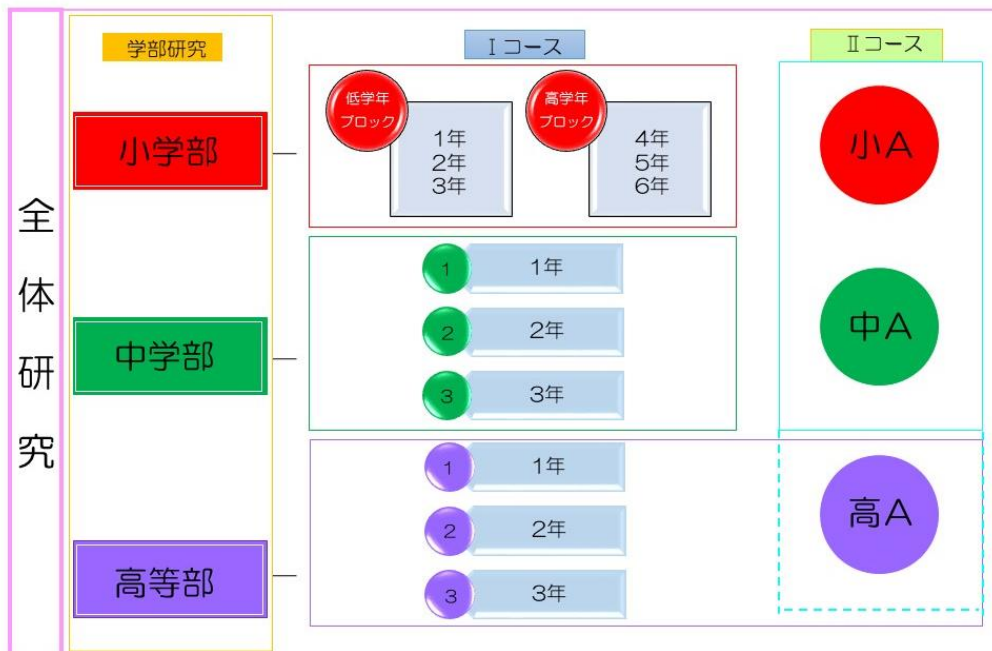


【令和5年度】「各教科等」の授業を中心に

- ・1年目の研究の成果や課題を踏まえPDCAサイクルに基き実施し、さらに実践を深める。

5 研究組織

全体研究会および学部研究会を主体とし、研究方法や内容に応じて学部内に小グループを設定する。



6 研究計画

【R4年度】

| 研究日 | | 研究会 | 主な内容 | 各学部、学年等 |
|-----|--------|---------------------------|------------------------------------|--|
| 5月 | 17日(火) | 研究日① ・全体研究 | ○研究主題、研究内容・方法、研究組織、研究計画 | ○学習指導要領の確認 ○児童生徒の実態把握 ○授業計画の作成 ○個別の指導計画の作成 |
| | 24日(火) | 研究日② ・全体研修 (校内講師) | ○目標及び内容、評価規準の設定について ○学部研究の方向性 | |
| 6月 | 14日(火) | 研究日③ ・学部研究 ・グループ研究 | ○単元の評価規準の再検討 | ○単元の評価規準の修正 ○評価規準に基づく評価と反省 |
| 7月 | 5日(火) | 研究日④ ・学部研究 ・グループ研究 | ○学習評価について検討 | |
| 8月 | 22日(火) | 研究日⑤ ・個人研究 | ○専門教科等に関連する研究・研修 | |
| 9月 | 13日(火) | 研究日⑥ ・学部研究 | ※PDC Aサイクルに基づく「授業づくり」「授業実践」 | ○授業計画の作成 ○個別の指導計画の作成 ○事例研究等 ○単元の評価規準の修正 ○評価規準に基づく評価と反省 |
| | 27日(火) | 研究日⑦ ・学部研究 ・グループ研究 | ○ICT活用を含む国語、算数・数学／ことばかすの指導方法の検討 | |
| 10月 | 11日(火) | 研究日⑧ ・学部研究 ・グループ研究 | ○授業実践 ○実践事例検討 ○授業改善 | |
| 11月 | 15日(火) | 研究日⑨ ・学部研究 | | |
| | 29日(火) | 研究日⑩ ・学部研究 | ○グループ研究のまとめ ○学部研究のまとめ | |
| 12月 | 13日(火) | 研究日⑪ ・グループ研究 | ○グループ研究のまとめ ○学部研究のまとめ | |
| | 20日(火) | 研究日⑫ ・学部研究 | ・成果と課題 ・来年度に向けて | |
| 1月 | 17日(火) | 研究日⑬ ・学部研究 | ○学部研究のまとめ ・全体研究に向けて | ○単元の評価規準の修正 ○評価規準に基づく評価と反省 |
| 2月 | 21日(火) | 研究日⑭ ・全体研究 (指導主事招聘) | ○校内研究のまとめ ・成果と課題 ・来年度の研究について | |

* 【R5年度】 R4年度の研究を受けて計画する。